



ブレーメンの音楽隊

最近、書齋の整理をしていましたら、懐かしい写真が出てきて、しばし思い出にふけりました。その写真というのは、一九八八年の九月にドイツを旅行したときのもので、こういう街が岩手にもあればいいなという感想を持ち

アートサイト

ブレーメンの音楽隊

ました。

ドイツの北端の海に面してブレーメンという街があります。なかなかおしゃれな街で、ただ商店街をぶらぶら歩いているだけでも飽きません。商店の建物が美しいだけでなく、メインストリートには車が走っていないのです。

商店街の道路の中央のところどころには、すてきなプロンズ彫刻が設置されていました。そのうちのひとつは角笛を吹く男の周りを豚が取り囲んでいるという、ほほえましいものでした。その豚の彫刻には街の子供たちがまたがつてあそんでいました。

そのすてきな光景に見とれていたら、突然、背後から音楽が聞こえてきました。ふりむくとタキシードに蝶ネクタイをした音楽隊が街中を管楽器で演奏しながらやってくるのが見えました。街のひとに聞くと地元の医大の学

生たちが毎日、夕方に演奏しながら通りを練り歩くのだというのです。

つまりブレーメンの音楽隊というわけです。ブレーメンには「ブレーメンの音楽隊」という有名な伝説があります。その伝説にちなんで地元の学生たちが観光客に楽しんでもらおうと演奏活動をしているのです。

演奏は心がうきうきするよいうな楽しい内容で、私にとつては忘れられない思い出になっています。機会があつたら、また行って見たい街ですが、その希望が現在の状況ではかなえられそうにありません。ブレーメンでは街のベンチに腰掛けて休んでいると、足元にスズメがきて膝や肩に止まるので驚きました。人間を全然恐れないスズメを見たのも初体験でした。

(芸術監督 六岡 康光)

石神の丘美術館通信《いしび》

2007.2.1 Vol.52

雪は降るものの、暖かい日が続きますね。長期天気予報によると、どうやら2月までは暖かい日が多く、3月は逆に寒くなるとのことですが・・・。



1月28日(日)に美術館ホールでは、「岩手県立沼宮内高等学校 美術部・写真部・書道部合同展」の関連行事として、同校吹奏楽部によるミニコンサートが行われました(写真)。少子化や学校の統廃合といった課題を抱えるなかで、部活動を活発化させることは容易ではないようですが、吹奏楽部は地元の音楽サークル「音を楽しむ会」と一緒に活動するなど、地域と手を結び、活動の枠を広げようとしているとのこと。実際、会場には「音を楽しむ会」のメンバーはじめ地元の方々が多く集まり、あたたかい拍手を送る姿が印象的でした。地域の皆様からの励ましは、とても心強いものです。この展覧会は来年度も継続して開催します。ぜひ高校生の活躍にご注目ください。

2月3日(土)から展示室では、毎年恒例となっている岩手町の埋蔵文化財を紹介する展覧会「第8回岩手町埋蔵文化財展 岩手町の県指定史跡」がはじまります。今年は、「浮島古墳群」、「仙波堤遺跡」、「今松遺跡」と町内の3つの県指定史跡を紹介します。同時期ホールでは沼宮内在住の千葉美保子さんが構想から4年をかけ、昨年秋に完成させた「岩手町ふるさとかるた」を紹介します。2つの展覧会が地元を改めて見直す機会となれば幸いです。

第8回 岩手町埋蔵文化財展

岩手町の県指定史跡 浮島古墳群・仙波堤遺跡・今松遺跡

会 期:2007年2月3日(土)~25日(日)

開館時間:午前9時~午後4時

休 館 日:毎週月曜日休館(月曜が祝日の場合は翌日)

観覧無料

第8回岩手町埋蔵文化財展 岩手町の県指定史跡

岩手町には「浮島古墳群(うきしまこふんぐん)」、「仙波堤遺跡(せんばつつみいせき)」、「今松遺跡(いままついせき)」と3つの県指定史跡があります。

この展覧会では、権力者の存在を示す古墳群とそこから出土した副葬品の数々、様々な形の土師器(はじき)、糸を紡ぐために使用した紡錘車(ぼうすいしゃ)など、7世紀末から8世紀前半にかけての社会の姿を伝える遺物を紹介します。会期中、美術館のショップコーナーでは、毎年好評の勾玉(滑石300円/琥珀 750 円)を販売します。

うきしまこふんぐん 浮島古墳群

岩手町の最西端に近く、送仙山(おくりせんさん)ふもとの標高 250mの台地に位置する浮島古墳群は、昭和34年に県指定史跡となりました。直刀(ちよくとう)、刀子(とうす)、ガラス玉、人骨片などが出土しています。地元の保存会によって現在でもきれいに整備され、墳丘の高まりがわかります。



小田島禄郎氏の活動

これら3つの史跡は、大正時代、当時一方井小学校教諭であった小田島禄郎(おだしまろくろう)氏によって学会に発表され、全国へと発信されました。氏の尽力により、その重要性が認識され、その後の県指定史跡への道の礎が築かれたのです。

せんばつつみいせき 仙波堤遺跡

いわて沼宮内駅の西約3km、主要地方道岩手・平館線と県道岩手・西根線の分岐点付近の丘陵に位置する仙波堤遺跡からはロク口を使用しない土師器の壺(つぼ)、甕(かめ)、杯(つき)、高杯(たかつき)、土製紡錘車などが出土しています。今松遺跡と共に、昭和32年に県指定史跡となりました。



いままついせき 今松遺跡

今松遺跡は、岩手町一方井の街なみをすぎ、県道が西根へ行く道と分岐するところを西へ約1km行ったところにあります。ふもとにある湧水(わきみず)を囲むように住居跡が分布し、土師器の甕、杯、石製紡錘車、砥石(といし)などが出土しています。地元の保存会の活動により整備・保存が行われています。



ホールの小さな展覧会

45音に込められた古里への想い 岩手町ふるさとかるた展



会期:2月3日(土)~28日(水)

美術館ホール/観覧無料

沼宮内在住の千葉美保子さんが製作した「岩手町ふるさとかるた」。構想から四年の歳月をかけた。昨年秋に完成しました。絵札は、一方井在住の武田吉孝さんが担当したものです。かるた45音には、岩手町の見どころや、美味しいものなどがぎっしりつまっていますよ。

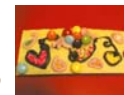
★手づくり講座 参加者募集中★

2月11日(日)

チョコレートのキャンバスに絵を描こう

3月11日(日)

和綴(わとじ)巨本をつくろう



時間:各回とも午後1時30分~3時30分

場所:石神の丘美術館ホール

材料費:各回とも500円

募集人数:各回とも10名(予約優先・先着順)

参加を希望されるかたは、石神の丘美術館(電話 62-1453)まで、申し込みください。3月11日の回は、すこし難しいので、小学校高学年以上の方に向いています。



美術館隣接 道の駅・レストラン「石神の丘」情報

このコーナーのお問合せ・ご予約は 道の駅「石神の丘」 TEL0195-61-1600 まで

産直おすすめ 郷土の味

くろない 凍み豆腐



寒い時期にだけつくられる「凍み豆腐」。「高野豆腐」「凍り豆腐」とよばれることもありますが、東北では「凍み豆腐」とよばれることが多いようです。健康食品としても注目され、煮物や汁物としてすでに召し上がっている方も多くことでしょう。

ちょっと変わった調理法として、「凍み豆腐のから揚げ」はいかがでしょう。解凍し水気を切った凍み豆腐を、鶏のから揚げの要領で、醤油、酒、すりおろしたんにんごなどを混ぜた調味液につけます。かるく水気をしばったら、片栗粉や小麦粉をつけ油で揚げます。おかずやおつまみにぴったりですよ。

只今新メニュー開発中!

きじづくしのお膳



岩手町の特産品のひとつ、きじ(日本きじ)の肉は、歯ごたえがあり、濃厚な旨みをもっています。只今、レストラン石神の丘では、3月からご予約制の新メニューとして「きじづくしのお膳」を開発中です。「きじのカルパッチョ」「きじのクリーム煮」「きじかつ」「きじのロースト」「きじらーめん」など、様々なスタイルのきじ料理を一度に味わっていただき、その美味しさを楽しんでいただければとおもいます。どうぞご期待ください!

冬のコース料理は 2 月末までとなっております。ぜひご賞味ください。(予約制)